



広陵中だより



学校の教育目標
～ひびき合い 高め合う生徒～

発行所; 可児市立広陵中学校
第1号 発行日; 令和7年4月7日

「人権と命を大切にする学校」「明日も来たくなる学校」「笑顔溢れる学校」

校長 桂川 辰也

新入生 114 名を迎え、全校 315 名で令和 7 年度をスタートすることができました。学校の教育目標である **ひびき合い 高め合う生徒** の育成にむけて全職員で力を合わせ、

「人権と命を大切にする学校」「明日も来たくなる学校」「笑顔溢れる学校」

をつくり上げたいと思います。保護者の皆様、地域の皆様には、温かいご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。



「安心感」があつてこそ！

広陵中学校では、3年前から **笑顔の“もと” = たくましさ** を合言葉として一人一人が自らを鍛えることを大切に取り組み続けてきました。**たくましさ** とは、自己の思いを語れる、自ら鍛え挑む、問題に立ち向かい自分たちの力で解決するなどです。確かに大切な力だと思いますが、「何時でも、何処でも、誰とでも」発揮できるためには、絶対に欠かせないものがあると思います。

私は平成 29 年度 30 年度にも広陵中学校に教頭として勤めていました。PTA 役員やエール広陵を始め、保護者や地域の方に温かく接してもらい、とても充実した教頭時代を過ごさせていただきました。関わる機会が多かった方には「よく喋る、声の大きい人だ！」と思われていたと思います。実際、自分のことをお喋りだと思っています。そんな私ではありますが、自分の考えを出せない時もあります。例えば「初めての環境」「自分の考えに自信がない」「苦手な人の前」など色々あります。広陵中教頭時代に私が自分をさらけ出しやすかったのは、子どもたちは勿論、保護者や地域、仲間である教職員から **受け入れられているという「安心感」** があつたからだったのです。

4月1日の職員会で、**笑顔の“もと” = たくましさ** は **「安心感」** という土台があつてこそ育まれ発揮されるものである。一人一人が安心して自分をさらけ出せる、優しい温かい人間関係を最優先する学校をつくろう！と全職員で確認しました。僅か一週間足らずの付き合いですが、私は本校の職員から **受け入れられているという「安心感」** をたくさん与えてもらいました。同時に、このスタッフとなら、必ず **「人権と命を大切にする学校」「明日も来たくなる学校」「笑顔溢れる学校」** は実現するとも確信しました。

心配なことがあれば、遠慮なく学校にご相談ください。一年間よろしくお願いします。